

【公園管理棟編】

このシートは、

2022

調査実施分

No.

158

2021

ファシリティコスト分

57,566 人

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度

令和4年度

施設名	ふれあい公園管理棟				
-----	-----------	--	--	--	--

大分類	公園	中分類	公園	施設番号	158
-----	----	-----	----	------	-----

所管部課	都市整備課
------	-------

1 土地データ

所在地 (地区)	中の沢266番地2外	敷地面積	13,813 m ²
	(東部)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和61年度
建物構造	W	延床面積	112 m ²	経過年数	36年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	36,960千円	法定耐用年数	15年	市民1人当たり更新コスト	642円/人

3 管理運営データ

利用状況	R1年度	R2年度	R3年度	平均利用者数	管理形態			
	-人	-人	-人	-人	指定管理者			
ファシリティコスト 令和3年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳			
	内 収				金額(千円)			
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	修繕料	-
		国費		-		火災保険料	8	
		道費		-		維持管理委託料	-	
		その他		-		敷地借上料	-	
		市費(一般財源)		2,373		工事請負費	-	
	合 計		2,373		その他維持費	-		
					小 計	8		
					②施設運営コスト	人件費	-	
				光熱水費	-			
				運営委託料	2,365			
				その他運営費	-			
				小 計	2,365			
				合 計(①+②)	2,373			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人		41円/人		21,188円/m ²			



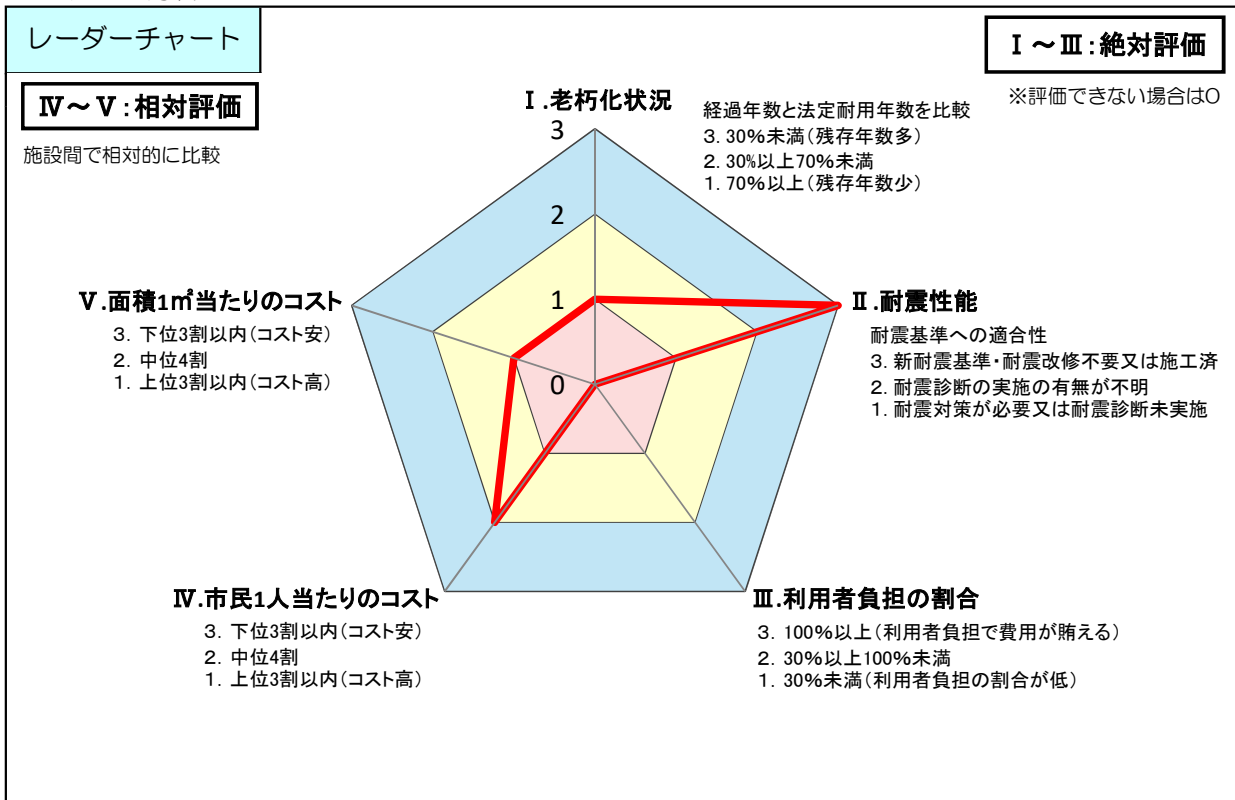
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H22	シャッター鍵交換	29			
H29	外壁修繕・塗装	351			

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	240 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	41 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	21,188 (円/㎡)

総合評価

経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。
 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストは標準的(IV)。
 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。

このシートは、

2022

調査実施分

No.

159

2021

ファシリティコスト分

57,566 人

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度

令和4年度

施設名	きたひろサンパーク管理棟				
-----	--------------	--	--	--	--

大分類	公園	中分類	公園	施設番号	159
-----	----	-----	----	------	-----

所管部課	都市整備課
------	-------

1 土地データ

所在地 (地区)	富ヶ岡237番地1外 (東部)	敷地面積	128,528 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成10年度
建物構造	W	延床面積	175 m ²	経過年数	24年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト	57,750千円	法定耐用年数	15年	市民1人当たり更新コスト	1,003円/人

3 管理運営データ

利用状況	R1年度	R2年度	R3年度	平均利用者数	管理形態			
	12,430人	20,808人	20,337人	17,858人	指定管理者			
ファシリティコスト 令和3年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳			
	収 入	利用料等		1,000	支 出	修繕料	359	
		国費		-		①施設維持コスト	火災保険料	26
		道費		-		維持管理委託料	-	
		その他		-		敷地借上料	-	
		市費(一般財源)		17,535		工事請負費	-	
	合 計			18,535	その他維持費	-		
					小 計	385		
					②施設運営コスト	人件費	-	
					光熱水費	-		
				運営委託料	18,150			
				その他運営費	-			
				小 計	18,150			
				合 計(①+②)	18,535			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	1,038円/人		322円/人		105,914円/m ²			



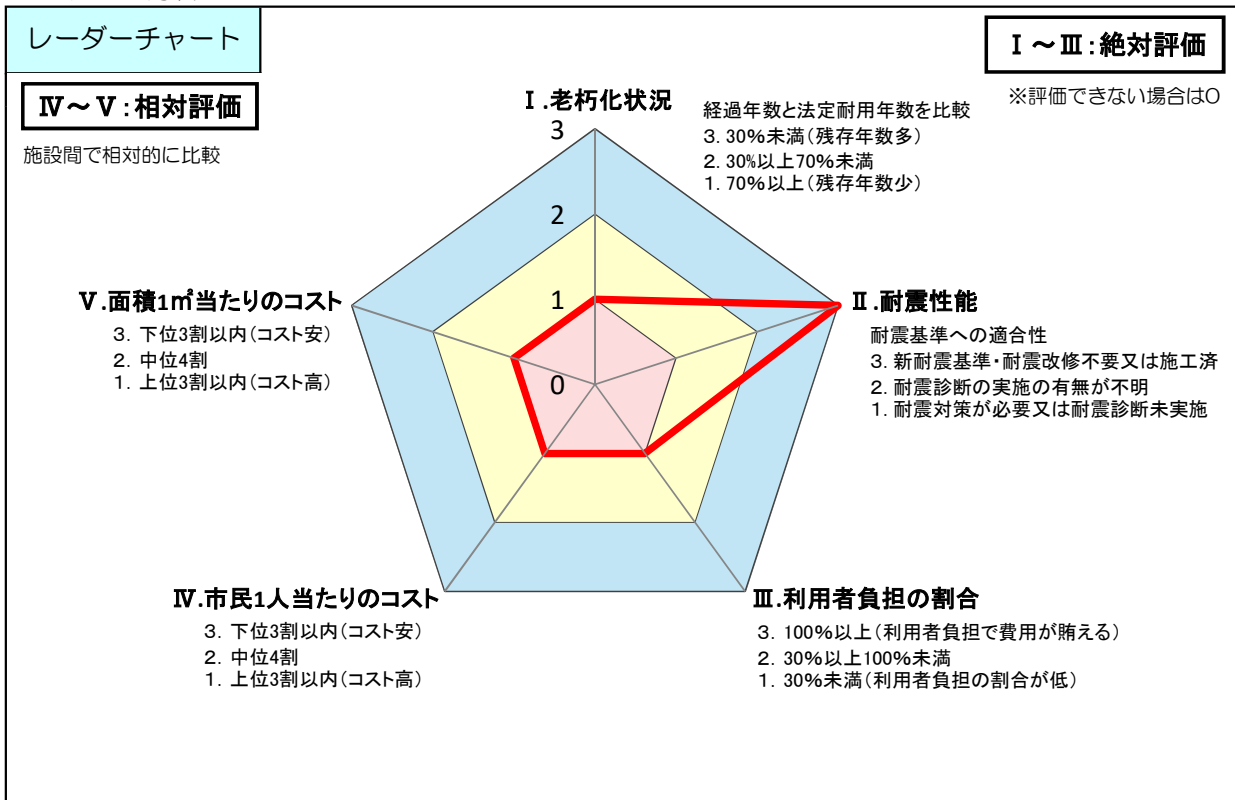
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H23	シャッター鍵交換	17			

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	160 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	5 (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	322 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	105,914 (円/㎡)

総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>利用者負担の割合は低い(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>
-------------	---